

## 株式会社JMC、砂型3Dプリンター導入及び 砂型造形を受託サービスとして事業展開へ

株式会社JMC（神奈川県横浜市 代表取締役社長：渡邊大知）は、鑄造事業にJMC初となる砂型3Dプリンター『S-Print（株式会社ExOne製）』を、2019年12月期上半期、2020年12月期にそれぞれ1台ずつ導入する契約を株式会社ExOne（神奈川県小田原市）と締結いたしました。2台の砂型3Dプリンターを活用し、鑄造工程の能力強化を図るとともに、2020年を目途に砂型造形を受託サービスを事業展開するための準備を開始いたします。

砂型3DプリンターはCADデータから直接鑄造用の砂型を造形する装置で、経済産業省が推進する「次世代型産業用3Dプリンターの造形技術開発・実用化事業」でも開発が進められており、今後の国内製造業における基盤となりうる技術の一つとして期待されております。砂型3Dプリンターの導入は、マシニングセンタでマスターモデルとなる木型を削り出し、職人の手込みによって行われていた従来の作業工程を短縮し、特に数多くの砂型を組み合わせて構成する自動車のシリンダーヘッドやインテークマニホールドの中子製作において、飛躍的な工期短縮を実現します。

また、EV<sup>(※1)</sup>やPHV<sup>(※2)</sup>化によって益々大型化・複雑化する設計に対して、これまで手作業で造型することのできなかつた複雑な砂型にも対応可能となり、JMCの鑄造事業の付加価値の拡大に寄与いたします。

更にJMCは、砂型造形を受託サービスによって、自動車メーカーや砂型鑄造を手がける一次サプライヤーを中心に新たな顧客層の獲得を目指します。JMCは、3Dプリンターの黎明期である1999年から光造形を受託サービスを継続しており、今後拡大が予測される砂型3Dプリンター市場においても、長年培ってきたノウハウを生かし、短納期・高品質を強みとしたサービスを展開して参ります。

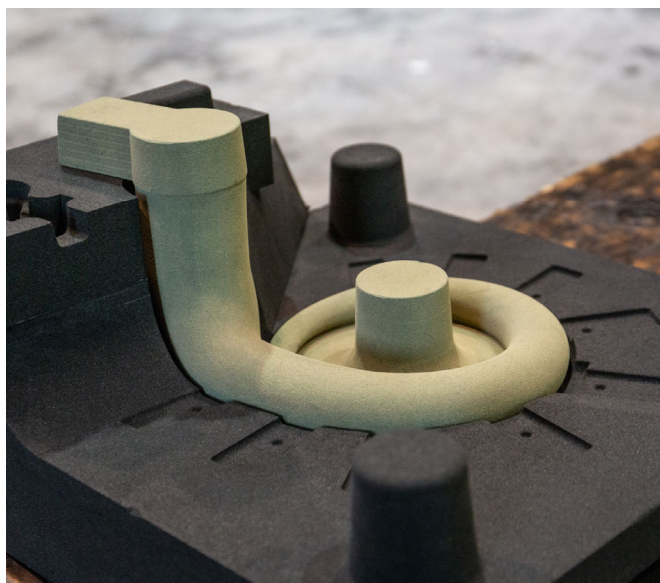
また、今回導入する砂型3Dプリンターは、今後建設予定のコンセプトセンター第6期棟（長野県飯田市）に設置予定です。建設計画の詳細は、決定次第公表いたします。

※1 Electric Vehicle = 電気自動車

※2 Plug-in Hybrid Vehicle = プラグインハイブリッド自動車



『S-Print』



3Dプリンターで造形した砂型



**【S-Print 装置概要】**

名称 : S-Print

造形BOXサイズ : L800 × W500 × H400 mm

結合剤タイプ : フェノール

積層ピッチ : 0.24 mm

造形解像度 : X0.1 mm / Y0.1 mm

装置外寸 : L3270 × W2540 × H2860 mm

— 会社概要 —

**【株式会社JMC】**

会社名 : 株式会社JMC

所在地 : 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-5 住友不動産新横浜ビル 1F

代表者 : 代表取締役社長 渡邊 大知

設 立 : 1992年12月18日

U R L : <https://www.jmc-rp.co.jp/>

事業内容 : 3Dプリンターおよび砂型鋳造による試作品、各種部品・商品の製造、販売  
産業用CTの販売および検査・測定サービス  
医療機器等の製造、販売

**【本件に関する問い合わせ先】**

株式会社JMC 広報担当

TEL: 045-477-5751 FAX: 045-471-5270 E-MAIL: [jmc1td@jmc-rp.co.jp](mailto:jmc1td@jmc-rp.co.jp)